

歯車シンポジウム 『歯車の低騒音・低振動化技術と新しい歯車減速機』

主催：中部歯車懇話会，共催：(公社)精密工学会東海支部 / (一社)日本歯車工業会 / 中部生産加工技術振興会，協賛：愛知工研協会

歯車のかみあい音の低減は従来からも課題でありましたが、近年は解析周辺技術の進展などにより、多くの低音化の指針に繋がってきています。一方、音や効率に関係する噛み合い伝達自体の新しい機構や考え方も開発されています。

そこで、今回は、歯車の噛み合い音の低減技術について、いろいろな視点から3件、および新しい噛み合い伝達を用いた歯車減速機について1件、第一線の講師をお招きして、講演会を開催します。低音化、高効率化など今後の歯車技術に活かしていただきたく、多数のご参加をお待ちしておりますとともに活発なディスカッションを期待します。

中部歯車懇話会・会長 鈴木 義友

記

1. 日 時：平成29年 2月 10日(金) 9時 50分～16時 20分

2. 会 場：名古屋市工業研究所 管理棟 3F 第一会議室 (名古屋市熱田区六番三丁目 4—41)
【地下鉄名港線「六番町」駅下車 3番出口より南へ約100m】

3. 次 第 (9:50 開会)

10:00～11:10 講演予定 (※下記をご覧ください)

11:20～12:30 『スバルの歯車技術変遷』

富士重工業株式会社 第3生産技術部

竹内 良彦 氏

1999年以降の当社の歯車加工技術及びギヤノイズ低減開発の変遷をまとめた。本講演では、トランスミッションの振騒性能と生産性を向上させるための取り組みを解析手法、加工工法などを折り込みながら紹介する。

13:40～14:50 『鉄道車両の歯車系から発生する振動・騒音と低減手法の研究』

(公財)鉄道総合技術研究所 車両制御技術研究部(動力システム)主任研究員 笹倉 実 氏

鉄道車両の駆動装置から発生する騒音は、主電動機の低騒音化が進む中で、歯車系騒音が相対的に高くなる傾向にある。実車歯車装置の音源解明や、H-FCDを用いた模型歯車による回転試験など歯車低騒音化研究を紹介する。

15:00～16:10 『歯車装置の小型化を実現するハイブリッド減速機と歯面温度計測技術』

近畿大学理工学部機械工学科 教授

東崎康嘉 氏

歯車装置の小型化を実現するための技術についての紹介を行う。一つは、歯車支持軸受を減速装置として活用するハイブリッド減速機であり、もう一つの技術は従来計測のなされていない接触面圧1.5GPa領域での歯面温度計測技術である。

※10:00～11:10にも講演を開催します。会告掲載時には決定しておりますので、以下のHPにて確認ください。

<http://www.chubuhaguruma.com>

4. 定員 80名

5. 参加費：◆会員企業(共催、協賛団体会員も本会会員に準じます) 15,000円/名(資料代、昼食代を含む)
◆会員企業で2人目からは、8,000円/名(例 3名参加では 15,000+8,000+8,000=31,000円)
◆非会員企業(個人も含む) 20,000円/名(資料代、昼食代を含む)
◆学生(受付で学生証提示) 5,000円/名(資料代、昼食代を含む)

6. 資料：資料のみの販売もします。 会員企業 3,000円/冊 非会員企業 5,000円/冊 学生 2,000円/冊

7. 申込み方法：平成29年2月3日(金)までに参加費を銀行振込みして下さい。併せて、「歯車シンポジウム申込み」と題記し、企業(又は学校)名、所在地、参加者名、所属、電話番号、所属学・協会名を記入しFAXして下さい。(申込み書の様式はありません。申込みFAX番号 052(661)0158)

8. 振込先：三菱東京UFJ銀行 六番町支店 口座番号・普通 1055212 中部歯車懇話会

9. 問合わせ先：名古屋市工業研究所内 中部歯車懇話会(名古屋市熱田区六番三丁目4—41)

児島 TEL: 052(654)9861, E-mail: kojima.sumito@nmiri.city.nagoya.jp